

「未来医療研究人材養成拠点形成事業」における工程表

① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・申請書様式2に示す10の教育プログラムすべてが運用され、修了生を送り出していること。 ・総合診療専門医を取得し、さらに次世代の地域包括ケアに対応する高度専門能力を修得した修了生が、地域医療の現場あるいは教育・研究の場でリーダーとして活躍していること。 ・大学ー地域循環型研修システムが構築され、どこにいても充実した研修とキャリア支援が受けられる体制が確立していること。

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H25年度 目標	H25年度 実績	H26年度 目標	H26年度 実績
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療入門プログラム(総合診療塾)新規受入れ:医学生5名 ・キックオフミーティングならびにフォーラムを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療入門プログラム(総合診療塾)新規受入れ:医学生17名 ・キックオフミーティングならびにフォーラム「第1回リサーチマインドを持った総合診療医の養成合同公開フォーラム『大学の力を、地域医療の未来へ! ~次世代の総合診療医養成を考える~』」を開催(平成26年1月31日) ・事業専用HP(http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/mirai_iryo/)を11月に開設、127回以上の更新を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療入門プログラム(総合診療塾)新規受入れ:12名(うち医学生10名、初期研修医2名) ・次世代対応型総合診療専門医養成プログラム新規受入れ:後期研修医5名 ・総合診療医フェロープログラム新規受入れ:大学院生3名(総合診療専門医等5名(総受入人数:10名)) ・総合診療研究実践プログラム新規受入れ:大学院生3名(総合診療専門医等)(総受入人数:5名) ・地域基盤型高度実践看護師養成プログラム新規受入れ:大学院生1名(看護師) ・総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)新規受入れ:地域の医療者10名 ・研修施設間の合同FDを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療入門プログラム(総合診療塾)新規受入れ:26名(うち学内医学生13名、学外医学生13名) ・次世代対応型総合診療専門医養成プログラム新規受入れ:後期研修医7名 ・総合診療医フェロープログラム新規受入れ:総合診療専門医等6名 ・総合診療研究実践プログラム新規受入れ:大学院生6名(総合診療専門医等) ・地域基盤型高度実践看護師養成プログラム新規受入れ:大学院生3名(看護師) ・総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)新規受入れ:地域の医療者等153名 ・研修施設間の合同FDを実施(平成26年10月25日、平成27年2月28日~3月1日) ・全国公開学生セミナー「総合診療★家庭医療全国公開セミナー in Tsukuba」を実施 ・事業専用HPを運営、年度内に122回更新し、開設から年度末までの閲覧数は6,350件
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進支援室を、附属病院総合臨床教育センターに設置 ・評価委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・『総合診療医養成事業推進支援室』を、附属病院総合臨床教育センターに設置 ・評価委員会の開催(平成26年2月28日) ・事業紹介パンフレットを1000冊作成し、全国より事業合同公開フォーラムへ来場した参加者、研修施設関係者等へ配布 ・事業紹介のための動画を作成し、事業HPにて公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会の開催(平成27年2月9日) ・事業紹介のための動画をYouTube(https://www.youtube.com/watch?v=beD6-CRrLni#t=17ならびにhttps://www.youtube.com/watch?v=6kmvchFz2ZU)上で公開し、1000件を超える視聴があった
アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療入門プログラム(総合診療塾)受講者数:5名 ・フォーラム参加者数:120名 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療入門プログラム(総合診療塾)受講者数:17名(医学生) ・合同公開フォーラム参加者数:160名(学内21名、学外139名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療入門プログラム(総合診療塾)受講者数:12名 ・総合診療医フェロープログラム修了者数:総合診療専門医等3名 ・総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受講者数:地域の医療者10名 ・合同FD参加者数:延べ20名 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療入門プログラム(総合診療塾)受講者数:延べ32名 ・総合診療医フェロープログラム修了者数:総合診療専門医等1名 ・総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受講者数:地域の医療者130名 ・合同FD参加者数:延べ20名(10月25日分のみ) ・全国公開学生セミナー「総合診療★家庭医療全国公開セミナー in Tsukuba」参加者:86名
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・推進室の設置による運営体制の整備 ・評価委員からの事業評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・附属病院の総合臨床教育センターの中に事業推進支援室を設置し運営体制を整備 ・外部評価委員からは、「事業計画が練られている」、「現状の進捗状況も明確」、評価委員にも地域や市民代表が入っており「広範囲な視点で外部評価が行える」ことなどについて好評を得、地域社会づくりに大きく貢献する事業であるとされるときに、地域と一体となって地域医療を担う人材を養成する本事業への期待が示された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員からの事業評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員からの事業評価では、事業の運営体制、教育プログラムの運用・改善、指導医等を対象としたFDなどの項目で特に評価が高く、日本における本補助事業のモデルとなって欲しいとの期待が寄せられた ・WONCA Asia Pacific Regional Conference 2014において、本事業による発表が優秀ポスター賞を受賞 ・第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会において、本プログラム大学院生が優秀論文賞(英文誌)を受賞 ・WONCA Asia Pacific Regional Conference 2015において、本事業による発表がYoung Investigator Awardの銀賞を受賞
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの		<ul style="list-style-type: none"> ・後期研修医:11名(平成24年度)→17名(平成25年度)(約55%の増加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療教育・総合診療領域に関する論文発表:3編以上 ・地域住民のヘルスプロモーション受講者数:30人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療教育・総合診療領域に関する論文発表:5編 ・地域住民のヘルスプロモーション受講者数:85人 ・後期研修医:17名(平成25年度)→20名(平成26年度)(約18%の増加)
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の幅広い周知 ・総合診療医養成に関する協力体制の構築 ・学生・研修医における、総合診療医という存在の周知とキャリアパスに対する期待の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回合同公開フォーラムを開催し、本事業ならびに採択15大学の事業内容を幅広く社会に周知できた。さらに、フォーラムのシンポジストとしてご参加いただいた各界の有識者からいただいた本事業への社会的期待や要望を参加者と共有することができた。 ・医療・行政・消費者活動など幅広い分野の専門家に本事業の評価委員としてご参画いただくことで、地域が一体となり総合診療医養成を行う協力体制を確認でき、次年度への取組みにつながった。 ・事業パンフレットや事業紹介動画の公開により、総合診療医という存在の周知とキャリアパスに対する期待が高まり、総合診療科での研修を希望する研修医増加につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記に加えて、医師不足地域(全国平均の半分以下)における教育拠点の整備による教育機能の向上 ・ヘルスプロモーションの実施による住民の健康に対する意識の向上 ・総合診療・地域医療領域における科学的なエビデンスの発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記(平成25年度)に加えて、医師不足地域(全国平均の半分以下)における教育拠点の整備による教育機能の向上を図った。 ・ヘルスプロモーションの実施には、目標としていた受講者数の3倍近い参加があり関心の高さがうかがわれただけでなく、受講者アンケートの結果で「生活改善のコツ」で実践したいものがあるとした回答が82.9%あり、住民の健康に対する意識の向上が確認できた。 ・論文や学会発表・講演活動などを通して、総合診療・地域医療領域における科学的なエビデンスを発信した。 ・事業コーディネーターの吉本講師の地域医療を担う若者養成の活動が認められ、「明日の象徴」を受賞した。

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム(続き)

	H27年度	H27年度 実績	H28年度	H29年度	
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療入門プログラム(総合診療塾)受入れ:23名(医学生・研修医) 次世代対応型総合診療専門医養成プログラム受入れ:8名(後期研修医) 総合診療医フェロープログラム受入れ:11名(総合診療専門医) 総合診療研究実践プログラム受入れ:5名(大学院生) 地域基盤型高度実践看護師養成プログラム受入れ:2名(大学院生(看護師)) 総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受入れ:20名(地域の医療者) 研修施設間の合同FDを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療入門プログラム(総合診療塾)受入れ:34名(医学生・研修医) 次世代対応型総合診療専門医養成プログラム受入れ:15名(後期研修医) 総合診療医フェロープログラム受入れ:11名(総合診療専門医) 総合診療研究実践プログラム受入れ:14名(大学院生) 地域基盤型高度実践看護師養成プログラム受入れ:2名(大学院生(看護師)) 総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受入れ:266名(地域の医療者) 研修施設間の合同FDを実施(10月10日、1月23日、2月23日(予定)) 全国公開学生セミナーを継続し「第2回 総合診療★家庭医療全国公開セミナー in Tsukuba」を実施 事業専用HPを運営、2015年12月末までに174回更新し、開設からの閲覧数は7539件(2月1日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療入門プログラム(総合診療塾)受入れ:25名(医学生・研修医) 次世代対応型総合診療専門医養成プログラム受入れ:10名(後期研修医) 総合診療医フェロープログラム受入れ:14名(総合診療専門医) 総合診療研究実践プログラム受入れ:5名(大学院生) 地域基盤型高度実践看護師養成プログラム受入れ:3名(大学院生(看護師)) 総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受入れ:30名(地域の医療者) 研修施設間の合同FDを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療入門プログラム(総合診療塾)受入れ:25名(医学生・研修医) 次世代対応型総合診療専門医養成プログラム受入れ:12名(後期研修医) 総合診療医フェロープログラム受入れ:17名(総合診療専門医) 総合診療研究実践プログラム受入れ:5名(大学院生) 地域基盤型高度実践看護師養成プログラム受入れ:3名(大学院生(看護師)) 総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受入れ:50名(地域の医療者) 研修施設間の合同FDを実施
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員会の開催(平成28年2月22日) 社会への発信力向上のため、日本プライマリ・ケア連合学会理事長・丸山泉先生のご協力を得て、本事業が「目指す医師像」について、事業責任者であり日本プライマリ・ケア連合学会副理事長でもある前野哲博との対談を実施(平成27年9月27日)。 対談内容を含む事業紹介の内容を視認性よく広報するため、HP拡充を実施(2月末公開予定)。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員会の開催
アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療入門プログラム(総合診療塾)受講者数:15名 総合診療医フェロープログラム修了者数:総合診療専門医等5名 総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受講者数:地域の医療者20名 合同FD参加者数:延べ30名 	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療入門プログラム(総合診療塾)受講者数:34名 総合診療医フェロープログラム修了者数:総合診療専門医等3名(予定) 総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受講者数:地域の医療者266名 合同FD参加者数:延べ30名 全国公開学生セミナー「第2回 総合診療★家庭医療全国公開セミナー in Tsukuba」参加者:52名 	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療入門プログラム(総合診療塾)受講者数:20名 総合診療医フェロープログラム修了者数:総合診療専門医等8名 地域基盤型高度実践看護師養成プログラム修了者数:1名 総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受講者数:地域の医療者30名 合同FD参加者数:延べ30名 	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療入門プログラム(総合診療塾)受講者数:25名 次世代対応型総合診療専門医養成プログラム修了者数:後期研修医5名 総合診療医フェロープログラム修了者数:総合診療専門医等10名 総合診療研究実践プログラム修了者(学位取得者):3名 地域基盤型高度実践看護師養成プログラム修了者:2名 総合診療レベルアッププログラム(インテンシブ)受講者数:地域の医療者50名 合同FD参加者数:延べ30名
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員からの事業評価 	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員からの事業評価について(後日記載) 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会において、本プログラム大学院生2名が、「日野原賞」、ならびに「優秀論文賞(和文誌)」を受賞 	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員からの事業評価 	<ul style="list-style-type: none"> 評価委員からの事業評価
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの	<p>医師不足地域(全国平均の半分以下)での地域医療従事医師数の増加:初年度に比べて2人以上 本プログラム修了者がプログラム責任者・指導医を務める総合診療専門医プログラム:3以上 地域医療教育・総合診療領域に関する論文発表:5編以上 地域住民のヘルスプロモーション受講者数:50人以上</p>	<p>医師不足地域(全国平均の半分以下)での地域医療従事医師数の増加:初年度に比べて4人 本プログラム修了者がプログラム責任者・指導医を務める総合診療専門医プログラム:3 地域医療教育・総合診療領域に関する論文発表:6編 地域住民のヘルスプロモーション受講者数:80人以上</p>	<p>医師不足地域(全国平均の半分以下)での地域医療従事医師数の増加:初年度に比べて3人以上 本プログラム修了者がプログラム責任者・指導医を務める総合診療専門医プログラム:5以上 地域医療教育・総合診療領域に関する論文発表:7編以上 地域住民のヘルスプロモーション受講者数:80人以上</p>	<p>医師不足地域(全国平均の半分以下)での地域医療従事医師数の増加:初年度に比べて4人以上 本プログラム修了者がプログラム責任者・指導医を務める総合診療専門医プログラム:10以上 地域医療教育・総合診療領域に関する論文発表:10編以上 地域住民のヘルスプロモーション受講者数:100人以上</p>
	定性的なもの	<p>左記に加えて、医師不足地域(全国平均の半分以下)における医療アクセスの向上と新たな在宅医療・緩和医療サービスの提供 多職種連携機能の向上によるチーム医療の充実</p>	<p>左記(平成26年度)に加えて、医師不足地域(全国平均の半分以下)における医療アクセスの向上と新たな在宅医療・緩和医療サービスの提供の取組みとして、設計段階から関わってきた「北茨城市民病院附属家庭医療センター」が、北茨城市の全面的支援の下、2015年6月に設立された。 家庭医療および地域包括ケアの実践、総合診療医の育成に特化した診療所として活動が開始され、本事業の教育拠点の1つである「北茨城地域医療教育ステーション」の教育環境も飛躍的に充実した。 ・インセンティブコースで公開したe-learning教材には、地域の医療者より延べ458件のアクセスがあり、地域の多職種の医療者の現任教員として実際に活用され始めた。</p>	<p>左記に加えて、本プログラム修了者がプログラム責任者・指導医を務める総合診療専門医プログラムにおける専門研修の実施</p>	<p>左記に加えて、各教育プログラムについて、他施設でも広く活用できる教育パッケージを完成させ、全国に提供 本事業において期待される医師像を実現できるキャリアパスの確立</p>